

緑のふるさと

世代をつなぐ笑顔のまち“グリーンハイツ”

現状 1 地域の現況と人口推計

(1) 位置と地勢

市の中北部に位置する緑台・陽明小地域は、昭和40年から、猪名川東岸の丘陵地に、多田グリーンハイツとして230ha、6,000世帯を超える規模で開発された地域です。

地域の東側には能勢電鉄平野駅があり、ここを起点に阪急バスが運行されています。また、自然と調和した閑静な住宅地が広がり、高等学校などの教育施設のほか、公園や緑地が多数点在しています。



(2) 人口と世帯

人口は、平成17年の15,904人から平成22年の15,344人まで5年間で3.5%減少しました（全市では、0.1%増加しています）。

年齢別人口割合は、70～74歳が最も多く、続いて65～69歳、60～64歳が多くなっています。【左下図】

世帯数は、平成18年が6,198世帯、平成23年が6,397世帯と5年間で3%増加しています（全市では6%増加しています）。

地域の将来人口を推計すると、10年後の平成34年にはおおむね13,400人となり、13%ほど少なくなる可能性があります。【右下図】



めざす地域像

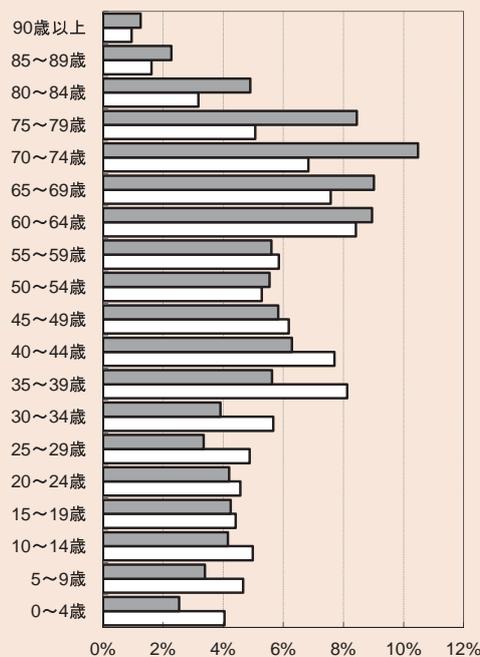
緑台・陽明小地域は、区画が整った清潔で美しい街並みの住宅地で、猪名川や桜の名所など自然があふれています。

また、地域活動を担う人材が豊富で、教育熱心な人も多いことが強みです。交流イベントや高齢者の活動、子どもの居場所づくりなど様々な地域活動が展開され、活発に活動している団体が多数あります。住民同士の助け合いや高齢者、子どもの見守りがあり、安心して暮らせるまちです。

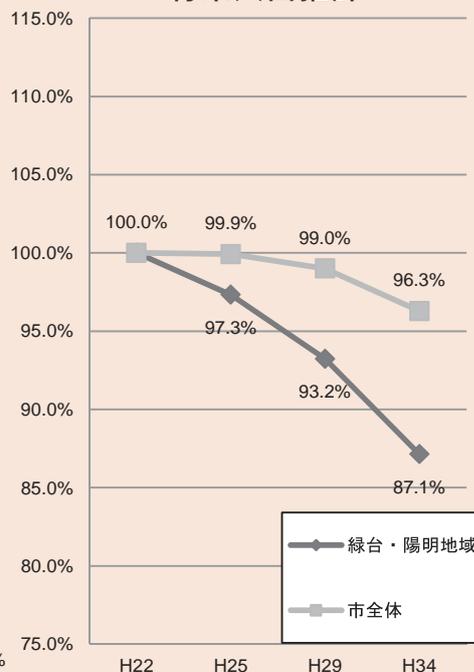
しかし、住民の高齢化による課題が顕著になっており、対応が求められています。

今後は、多世代が住み地域の活力を維持できるよう、地域らしさを発揮した若い世代が住みたくなるまちづくりを進めます。

人口構成



将来人口推計



人口全体を母数とする割合で表示

上段：緑台・陽明小地域

下段：市全体

(H23 住民基本台帳)

(住民基本台帳ベース)

現状 2 地域の主な資源・地域活動と意識

(1) 地域の主な資源・地域活動

① 主な資源



② 主な地域活動

- ・サマーカーニバル
- ・グリーンフェスタ
- ・防犯パトロール、登下校時児童の見守り
- ・地域の情報、広報誌の発行
- ・ぴいぷるひろば
- ・自主防災総合訓練
- ・体育祭
- ・三世代福祉餅つき大会
- ・ファミリーハイキング
- ・「ふれあい祭り」、「陽明バザー」
- ・エドヒガンサクラの保存
- ・ほほえみ・ふれあいサロン
- ・子育てひろば「このゆびとまれ」
- ・すみれ会
- ・障がい者郊外遠出
- ・なんでも相談窓口「やまびこ」

(2) 市民意識調査 (緑台・陽明小地域集計)

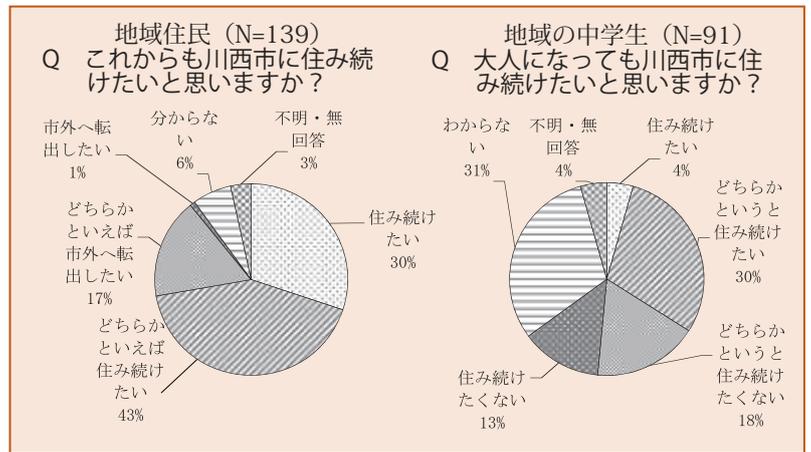
① 定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた地域住民は、73%となっています。

一方で、中学生は、42%となりました。

② 施策の重要度・満足度

緑台小地域、陽明小地域ともに、重点課題として「高齢者の支援」「公共交通の利便性向上」が挙げられています。また、継続推進すべきこととして「防災力の向上」「省資源・リサイクル」などが挙げられています。



緑台小学校区	
①重点課題	②継続推進
3.高齢者の支援	1.健康づくりの支援
5.子育て支援	7.学校教育環境の整備
14.都市計画の推進	10.環境の保全
15.市街地整備	11.省資源・リサイクル
16-1.交通施設の整備	12.公園・みどりの整備
16-2.公共交通の利便性向上	13.上水道の安定供給
20.労働環境の向上	17.防災力の向上
24.効率的な行財政の運営	18.生活安全の推進
③課題	④要検討
4.障がい者の支援	2.地域福祉の推進
6.低所得者福祉	23.参画と協働のまちづくりの推進
8.青少年の育成	
9.生涯学習・文化の振興	
19.産業の振興	
21.観光の振興	
22.共感・共生のまちづくり	

陽明小学校区	
①重点課題	②継続推進
3.高齢者の支援	1.健康づくりの支援
4.障がい者の支援	2.地域福祉の推進
5.子育て支援	7.学校教育環境の整備
14.都市計画の推進	10.環境の保全
16-1.交通施設の整備	11.省資源・リサイクル
16-2.公共交通の利便性向上	12.公園・みどりの整備
20.労働環境の向上	13.上水道の安定供給
24.効率的な行財政の運営	17.防災力の向上
	18.生活安全の推進
③課題	④要検討
6.低所得者福祉	8.青少年の育成
15.市街地整備	9.生涯学習・文化の振興
19.産業の振興	21.観光の振興
	22.共感・共生のまちづくり
	23.参画と協働のまちづくりの推進

地域の課題とありたい姿

地域別懇談会で議論された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された意見をもとに、緑台・陽明小地域のありたい姿と課題を生活のテーマ（第5次総合計画における「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つ）に整理・集約すると、次のようになります。

暮らし

◆…主な課題…◆

- ・現在の公園を整理し、遊具がなくボール遊びができる公園、高齢者が集える公園など、目的別の再編成が必要である
- ・人口減少や高齢者の増加による地域活力の低下や空き家の増加など、オールドニュータウン*問題への対応が必要である
- ・買い物、医療、図書館など日常生活の利便性の向上が望まれる

◆…地域のありたい姿…◆

- ・緑がきれいでくつろげ、安心して楽しく遊べる公園があるまちにしたい

安全安心

◆…主な課題…◆

- ・災害時要援護者支援体制（SYS）*の整備やひとり暮らしの高齢者の見守りの充実を図る必要がある
- ・認知症の高齢者、また障がい者の暮らしを支援する必要がある
- ・犯罪や災害への対策、交通安全対策など暮らしの安全安心を高める必要がある
- ・ペットの飼い方やごみ出しなど暮らしのマナーを向上する必要がある
- ・災害に対し住民が取り組むための自主防災組織*を充実する必要がある

◆…地域のありたい姿…◆

- ・地域の自然や行事などを住民が守り、アピールしていけるまちにしたい
- ・緑や草花がいっぱいあり、そのような緑の景観をいつまでも保っているまちにしたい
- ・安全防犯パトロールや近隣の見守りが行き届いた安全で安心できるまちにしたい

生きがい

◆…主な課題…◆

- ・保育所の整備などの子育て支援策を検討する必要がある
- ・子どもがのびのび遊べる場所の整備など、子どもの育つ環境づくりが必要である

◆…地域のありたい姿…◆

- ・子どもがのびのびと遊べる環境があり、また安心して子育てができる、若い世代も暮らしやすいまちにしたい
- ・生活の中に夢や生きがいがあり、明るく活気のあるまちにしたい

つながり

◆…主な課題…◆

- ・以前ほど住民のつながりが持てず、コミュニケーションが不足している
- ・高齢化により、役員や民生委員*などのなり手が減少している
- ・住民同士がふれあい語り合える場が少ない

◆…地域のありたい姿…◆

- ・若者から高齢者まで、気兼ねなく話せる場所や雰囲気があり、三世代が居心地よく暮らせるまちにしたい
- ・皆であいさつし合う声が響くまちにしたい
- ・住民同士がお互いに助け合い、ネットワークを大切に、また生きがいを持って暮らしていけるまちにしたい

地域のありたい姿を実現するための取り組み

地域別懇談会で検討された主な内容

地域別懇談会のワークショップで議論された、緑台・陽明小地域のありたい姿を実現するための地域の取り組み内容を整理すると、次のようになります。

暮らし

- ・公園の整備を行い、目的別に特色を持った公園にする
- ・商店街の集約と、駐車場の確保から交通安全を推進

安全安心

- ・高齢化に伴う移動手段の検討
- ・自主防犯・防災活動の充実
- ・自然を活用した行事への参加者を増やす

生きがい

- ・保育所（幼保一体）の検討
- ・子育ての豊富な人材をさらに有効活用（専門性・ボランティア）
- ・子どもによる子ども主体の行事計画を立案

つながり

- ・「グリーンハイツふるさと基金」の充実
- ・近隣住民が語り合い、あいさつし合う
- ・若い人たちにとって何が足りないのか意見を聞く場づくり
- ・空き家を借り上げ、ふれあう場をつくるなど、居場所づくりの拡充

市の主な関連する施策（参考）

- ・施策 2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます
- ・施策 3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします
- ・施策 4 公園を利用しやすくします
- ・施策 10 ふるさと団地の再生を推進します
- ・施策 11 商工業を振興します
- ・施策 21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します
- ・施策 23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します
- ・施策 25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します
- ・施策 27 生活安全の向上を図ります
- ・施策 28 豊かな自然環境を次世代へ継承します
- ・施策 29 快適な生活環境を守ります
- ・施策 31 子どもの健やかな育ちを実現します
- ・施策 32 明るく楽しい子育てを支援します
- ・施策 44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します